

住み続けたいまち室蘭を目指して 令和6年度のまちづくり

青山市長の令和6年度のまちづくりと予算編成の考え方について、今号と来月号の2カ月にわたりお知らせします。
今号は、予算の概要と4つの戦略のうち、「1. 安心できるまちづくり」を掲載します。



▲市議会で市政方針を説明する青山市長

令和6年度は、最重要課題である人口減少対策において、子育て世帯の負担軽減を柱とした子どもを生き育てやすい環境の充実のほか、働き手不足に対応した地元人材の定着や地域経済の活性化に向けた施策展開を図ります。
さらに、能登半島地震を踏まえた防災対策の強化や、将来にわたって安心できる地域医療の提供体制構築に取り組みます。

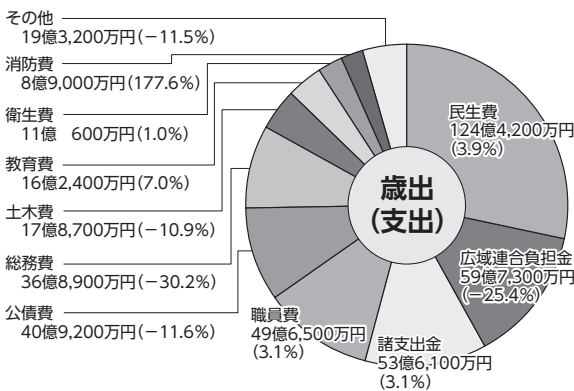
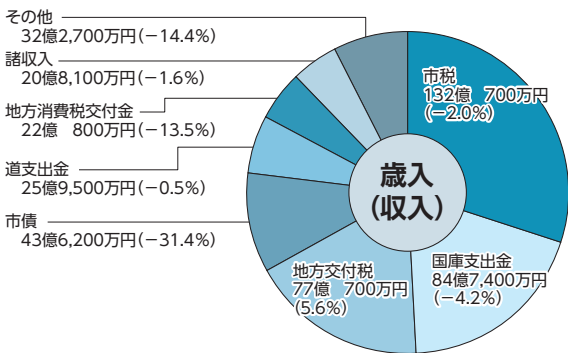
令和6年度の予算

【詳細】財政課 ☎25-2268

一般会計 福祉や教育、道路整備など、市の基本となる事業の会計です。

438億6,100万円 (-6.8%)
()内は前年度に対する伸び率

一般会計の予算額は、前年度と比べ6.8パーセント、32億1,000万円の減となりました。
歳出では、廃棄物中間処理施設建設費の減少により減額となり、それに伴い、歳入では市債と基金繰入金が減額となっています。



企業会計 民間企業と同様に、利用料金収入などで運営する会計です。

水道事業	32億8,200万円 (-2.6%)
病院事業	120億1,800万円 (4.9%)
公設地方卸売市場事業	6億9,300万円 (8.6%)
港湾整備事業	4億6,800万円 (4.5%)
下水道事業	47億6,600万円 (-9.0%)

212億2,700万円 (0.4%)

特別会計 一般会計とは別に、独立して経理を行う会計です。

国民健康保険	79億6,200万円 (-2.5%)
介護保険	80億3,100万円 (1.7%)
後期高齢者医療	18億8,500万円 (5.8%)

178億7,800万円 (0.2%)

主な用語の説明

- 市税** 市民税、固定資産税、たばこ税などで、市の予算を支える最も重要な収入
- 国庫支出金** 国が市に対して、用途を特定して交付する補助金など
- 地方交付税** 自治体の財政力に応じて国から交付される収入。用途は特定されない
- 市債** 建設事業などのための長期借入金
- 道支出金** 道が市に対して、用途を特定して交付する補助金など
- 諸収入** どの収入項目にも属さない収入。預金利子、貸付金元利収入、学校給食費など
- その他** 法人事業税交付金などの各種交付金や土地売却収入など
- 民生費** 高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉、生活保護などに関する経費
- 広域連合負担金** ごみ処理や情報処理業務を共同で行っている西いぶり広域連合と北海道後期高齢者医療広域連合への負担金
- 諸支出金** 特別会計への繰出金、企業会計への負担金や補助金など
- 職員費** 職員の給料・諸手当など
- 公債費** 建設事業などに借り入れた長期借入金の元金・利子と一時借入金の利子など
- 総務費** 公共建築物の維持補修費や工事費のほか、災害対策、市民活動などに関する経費
- 土木費** 道路、河川、街路、公園などの維持管理、整備などに関する経費
- 教育費** 小中学校、生涯学習、文化、芸術、スポーツなどに関する経費
- 衛生費** 健康増進、母子保健、疾病予防、廃棄物処理などに関する経費
- その他** 議会費、労働費、農林水産業費、商工費、災害復旧費など

「住み続けたいまち室蘭」の実現に向けた4つの戦略

1

安心できる
まちづくり

今号で紹介

2

ものづくりと
世界に貢献する
港づくり

3

潤いある
文化・観光・
スポーツ振興

4

将来を見据えた
都市整備と
行財政改革

5月号で紹介

1 安心できるまちづくり

子育て支援の充実

○0・1・2歳児の保育料10パーセント軽減
一律軽減に加え、独自の多子世帯の負担
軽減を実施します。



歳入 △1,926万円・歳出 788万円

○保育士・幼稚園教諭の奨学金返済を支援
市内に就業する保育士・幼稚園教諭を対象に奨学金返
済支援制度を創設します。

378万円

○第3子以降の学校給食費無償化
18歳までのこどもから数えて第3子以降の給食費を原
則無償化します。

△1,741万円

○子ども医療費助成を3割から1割負担に軽減
18歳までの医療費について、3割から1割
負担へと大幅に軽減します。



1億2,358万円（うち拡充分3,744万円）

○スクール児童館の無償化と開設時間拡大
利用料金の無償化に加え、土曜日・長期休業などの開
設時間を7時30分からに拡大します。

歳入 △647万円・歳出 119万円

○子ども発達支援センターの民営化
4月からの民営化に合わせ、新たに看護師の配置や受
け入れ体制の拡充を図ります。

3,800万円

子育て世帯の負担軽減モデルケース

5人家族の場合

家族構成 夫婦、小3、小2、0歳（保育所）

- ・保育料 73.2万円
- ・医療費 4.4万円
- ・スクール児童館 6.2万円



年間で83.8万円軽減

※上記は一例です。

※保育料…市の独自軽減対象世帯の平均保育料階層で試算。

※医療費…厚生労働省令和2年度の医療費を用いて、3割と1割
の負担に係る医療費を比較。

※スクール児童館…2人利用の場合で、道内平均利用料から試算。

災害に強いまちづくり

○津波避難対策を強化

高台などへの避難が困難な区域で、JRの線路横断避
難に向けた協議や緊急的な避難スペース確保に向けた整
備に着手します。

51万円

○津波発生時の情報発信を強化

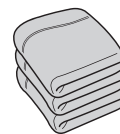
津波警報サイレンの機能強化のほか、市LINEやコミュ
ニティFMによる情報発信の連携など、情報伝達手段を
多様化・多重化します。

4,091万円

○厳冬期の備蓄品を拡充

毛布やジェットヒーターなど寒冷地
特有の備蓄を進めます。

1,936万円



○災害対応ドローン導入

山岳遭難や急傾斜地などの救助・調
査に対応できるドローンを導入します。

284万円



教育環境の充実

○「室蘭ふるさと学習」の推進

小中学校の校外活動を拡充し、さまざまな体験活動
を通してふるさと室蘭への愛着を育みます。

1,214万円

○スクールカウンセラーの拡充

カウンセラーの派遣時間を拡大し、児童生徒の悩みに
対する心のケアを充実します。

61万円

高齢者の外出支援

○路線バス割引助成金

満70歳以上を対象に、市内での乗降に限り1回100円
で利用できるワンコインパスと、室蘭市・登別市・伊達
市間（大滝区を除く）を自由に利用できるふれあいパス
の購入を支援します。

※ワンコインパスは、7月より有効期限が6カ月間から4カ月間
に変更となります

3,678万円

次号は、4つの戦略の2から4について、主な内容を
お知らせします。

令和6年度の市政方針説明の全文は、
市ホームページに掲載しています。

《詳細》企画課 ☎25-2181

